

インフォメーションBOX



第1回・マンスリーウィークエンド 募集中

プログラムの指導は経験豊かな当所のスタッフや、明るく楽しいボランティアが担当します。1泊2日で最大3つのプログラムに参加できます。

今月の目玉プログラム!

ヨモギ団子作り、ウグイス笛作り、泥んこ遊び

【日程】平成20年4月26日(土)～27日(日) 1泊2日
【参加費】小学生3,400円、中学生3,600円、未就学児(3歳～6歳)3,100円、乳児(3歳未満)500円
大人(千葉市民)4,400円、大人(千葉市民以外)5,200円

【対象】3歳以上中学生以下のお子さんを含むご家族
【募集人員】35組(宿泊棟宿泊:1家族1部屋)
【申込方法】往復はがきに必要事項(①主催事業名、②代表者氏名、③郵便番号・住所、④電話番号:自宅・携帯、⑤参加者人数:お子さんの学年・年齢をご記入の上、少年自然の家へお送りください。(4月5日(土)必着)
※お申し込み多数の場合は抽選にて決定させていただきます。



詳しくはホームページをご覧ください。電話にてお問合せください。

第2回・ファミリーキャンプ 募集中

ながら春の農家体験 ～自然の家で田植え&わら細工体験～

春の暖かな太陽の下で農家体験にチャレンジしませんか?谷津田で田植え、長柄の昔ながらのおやつ作り、そしてわら細工を体験。
みなさんのお越しをお待ちしています!!

【日程】平成20年5月10日(土)～11日(日) 1泊2日
【参加費】小学生3,900円、中学生4,100円、未就学児(3歳～6歳)3,600円、乳児(3歳未満)500円、大人(千葉市民)4,900円、大人(千葉市民以外)5,700円



【対象】千葉市内、市外の児童・生徒(小学生～中学生)とその保護者
【募集人員】18組(ログ棟宿泊:1家族1棟)
【申込方法】往復はがきに必要事項(①主催事業名、②住所、③代表者氏名、④参加者人数:お子様の学年・年齢、⑤電話番号:自宅・携帯)をご記入の上、少年自然の家へお送りください。(4月14日(月)必着)
※お申し込み多数の場合は抽選にて決定させていただきます。

詳しくはホームページをご覧ください。電話にてお問合せください。

クライミングウォール 指導者養成講座 募集中

この養成講座では、使用者の自己責任と安全管理の徹底を理解して頂くこと、器具の取り扱い方や指導法について紹介します。「指導者認定証」の発行後1年間は、団体として当所のクライミングウォールを利用することができます。

【第1回】平成20年4月27日(日) 13:00～15:30
【第2回】平成20年5月18日(日) 13:00～15:30
【第3回】平成20年6月 8日(日) 13:00～15:30
【第4回】平成20年6月22日(日) 13:00～15:30



【対象】千葉市少年自然の家の利用申込みを行い、クライミングウォールの実施を希望する青少年団体の指導者(高校生不可)、千葉市の教職員
【参加費】300円(保険代)
【申込方法】電話でお申込みください。(先着順)

ボランティア大募集!

千葉市少年自然の家では、子ども達が生き生きと活動できるように健全な育成を手助けしてくれるボランティアを募集しています。またボランティアにとっても自身の成長や自己実現となるような機会を提供するお手伝いをしています。

ファミリーキャンプ・マンスリーウィークエンド等でのプログラムサポート、館内ディスプレイなど、様々な場面でご活躍いただけます。

【募集対象】主として千葉市少年自然の家の事業に関心があり、心身共に健康で自立している方
【活動日時】ボランティア活動をしていただける事業を事前に各自で選択し、都合に合わせて活動します。

※詳しくはお電話にてお問合せください。



千葉市少年自然の家だより

No.36

ゆくくと

3月号

平成20年3月1日発行
(毎月1日発行)

発行所/千葉市少年自然の家 〒297-0217 千葉県長生郡長柄町針ヶ谷字中野1591-40 TEL(0475)35-1131 発行人/赤澤 晃

創造を導くコミュニケーションを

2月16日(土)に「コミュニケーションを解剖する」をテーマにコミュニケーションスキルアップ講座②コミュニケーション講座を行いました。

今回の講座は、体験学習をベースにコミュニケーションについて学ぶという手法を用いました。講師としてお招きした千葉大学環境健康フィールド科学センター教授 徳山郁夫先生、千葉大学大学院教育学研究科教授 上杉賢士先生にお話しをお聞きしました。

○今回、ご指導いただく内容についてお話しください。

徳山先生(以下敬称略)

コミュニケーションというのは人と人で行われるものですが、形の無いものですので、まずはワークショップという形で互いのリアリティのある人と人との交流を起こして、そこにどういったコミュニケーションがあったのか?どういったことを配慮することでコミュニケーションが頻繁に行われたか?コミュニケーションが行われやすくなったか?一度、コミュニケーションそのものに触れて、コミュニケーションという言葉を理解して欲しいのです。コミュニケーションというものは人にとって、技能として身につけて欲しいもの、繰り返しやっていかないと進歩していかないものです。そういう実体験の多い人たちにとっては、もしかしたら講義というものが手助けになるかもしれませんが、人と人のコミュニケーションが少なくなった現状では、まずは実際に人に会って、自分の感情と相手の感情を交流させてもらう様な形でワークショップを行っています。



○なぜ、講座の中でゲームを用いているのでしょうか。

徳山:なぜゲームを使うかという、人のニーズはみんな違います。ゲームという大枠に入った時に、お互いのベクトルが同じ方向を向いて、コミュニケーションを交わし易くなる。共通の目標というのはグループを作った時にまとまりやすくなる。ゲームというのはみんなに分かり易い手法だと思います。

上杉先生(以下敬称略)

私の方は、せっかくこの素晴らしい施設があるのに、まだまだ広くは知られていない。この施設を多くの人にPRしようよ!ということ課題とし、グループでテーマを決めて、情報を集めて、編集して、情報の発信をしていく。発信自体がコミュニケーションということもできますが、もうひとつ重要なことは、自分たちで情報をまとめ、編集して、発信しようというプロセスでそれぞれの思いをつなぎ合わせていく必要が出てきます。

私の担当する時間では、コミュニケーションをどうするか?ということは表向きは問題にしないで、具体的な活動を通して、必然的にメンバーのコミュニケーションの密度が濃くなることによって良いものが生まれていく。それを体験していただければと思っています。



○今回の参加者へ期待することは何でしょう。

徳山:(今回の内容を)そのままコピーしてどこかでやるというよりも、上手くいかなくても、中途半端でも、コミュニケーションの種を蒔いて欲しい。そういう人たちに育てて欲しい。答えは一つではないんです。今日上杉先生がすることも、どんな答えが出るか、私がやったことも答えは決まっています。(次ページへ続く)

創造を導くコミュニケーションを

上杉：人が集まる。そこは、もともとは生産的な場なんですね。出会ってお互いの情報源であったり、お互いの異なる感性であったりそのようなものが集まって、多くの場合はそこで何か新しいものが生まれる。残念ながら今の関係というのは、作って維持するという事に止まってしまっています。



本当はもっと、おそらく出会ったら、火花が散って、新しいものが次々生まれる。その辺りを分かってもらえると(今、徳山先生が種を蒔くと言われましたが)、みなさんがそれぞれの職場にもどって、種を蒔いて、子ども達が、自分だけでは出来ないことが人とつながったら何かが出来た！つながりが出来ていったら、おもしろいことが出来る！そういう体験をしていただきたい。出来上がるものは種を蒔いた人にも実は分からない。そこがおもしろいんです。

徳山：出会いの演出家として、今まで出会ってる人も、演出家がいたらもっと肉薄してお互いのやりたいことをぶつけられるというヒントを掴んでいただけたら、そういうことをやりたいという意欲をもって帰っていただけたらうれしいですね。

上杉：今日の参加者にある意味で期待、信頼があるんですが、たぶんこういうプログラムに参加する人は一つ一つ教えて、どのくらい教えたからなんぼという感覚は持っていない。やっぱり一つ一つ教えてできることには、所詮限界があるんです。先ほど、種の蒔き方という話が出ましたが、種の蒔き方みたいなものを一緒に考えてもらいたい。振り返りながら、自分はどのような種を蒔いたんだろうか？ということを考えていただけたらうれしいですね。



徳山：何かで次に会った時に、種を蒔いたんだけど上手くいかなかった。上手くいかなかったのはどこが問題だったんだろう。という風にこの人たちがどこかで議論をしてくれるといいですね。

主催事業・イベント報告

自然の家ファミリーキャンプ

本格スターウォッチング&自然薯ハントとお好み焼きパーティー

2月の自然の家ファミリーキャンプは、「本格スターウォッチング&自然薯(じねんじょ)ハントとお好み焼きパーティー」と題し、13家族41名の参加で実施しました。

1日目、まずは所内で自然薯掘りにチャレンジしました。3箇所に分かれて自然薯掘り用の道具とスコップ、それに「手」を使って家族ごとに深く掘り進みました。約1時間後には立派な自然薯が姿を現しました。続いて、夜の天体観測に備えて、講師を招いて星の話や望遠鏡について色々とお話を伺いました。夜になり、いよいよスターウォッチングを行いました。今回は望遠鏡と双眼鏡を使い、土星、月、すばるなどをじっくり観察しました。土星の姿にびっくりしたり、感動する参加者の皆さんの姿が印象的でした。

2日目は、前日に掘った自然薯を使い、「関西風お好み焼き」にチャレンジ。家族で材料を切ったり自然薯をすったり、楽しく取り組んでいました。もちろん、とてもおいしいお好み焼きが出来上がりました。



大きな自然薯が採れました！



おいしく出来たかな？

自然の家プログラムの紹介 竹のハーモニカ



竹と葉っぱを使ってハーモニカを作るプログラムです。葉っぱの厚みや形など、葉っぱによって鳴る音が異なります。葉っぱを選ぶ過程で、さまざまな種類の葉っぱがあることに気づくことができるでしょう。

1. 竹の内側(茶色の面)を紙やすりで平らにする。
2. 竹の内側の真ん中を紙やすりで凹状にへこませる。
3. へこませたら、材料の紙を2つの竹の間に挟み、竹のすき間に口で息を吹き込むように試し吹きをする。
4. 音が鳴るようになったら、輪ゴムで両サイドをしぼる。

- ポイント① 紙やすりでへこませるのは少しで良い。
ポイント② はさむ物はうすくて切り口がまっすぐなものが良い。
ポイント③ はさむ物はピンと張るようにして挟む。

竹のハーモニカを持って外に出しましょう。いろんな葉っぱを見つけてハーモニカに挟み、葉っぱの種類によって音がどのように違うか試してみましよう。



上の材料を使います。いろいろな葉っぱで音をならしてみましよう。



でき上がった竹のハーモニカ。ペンで色をつけても良いでしょう。

自然の家周辺情報 長南・睦沢歴史資料館



①長南町郷土資料館

長南町郷土資料館は、長南町の民族資料(考古資料、農具、生活用品、郷土玩具など)の保存と展示公開を目的に、昭和48年5月に開館しました。収蔵品はほとんどが町内関係資料で、歴史・民族・考古・美術品など広い分野に渡ります。町に伝わる袖(そで)だこ芝原(しばはら)人形、竹細工、花火の筒等の展示もしています。



明治の頃から近年まで使われていた農具、生活用品



②睦沢町立歴史民俗資料館

睦沢(むつさわ)町立歴史民俗資料館は、自然と歴史に育まれた睦沢町のほぼ中央に位置し、生涯学習の拠点でもある文教施設の一つとして、文化財や伝統文化の継承と歴史学習や研究機関としての機能を持って活動をしています。庶民のくらしをテーマに農家の家を精巧に復元している第1展示室、遺跡からの出土品や古文書などで睦沢の歴史を紹介する第2展示室があり、町の歴史と民俗資料を解説つきで展示しています。



Season Snap Shot



木の枝に、白い雪の花が満開です。数日後、雪はすっかりとけてなくなって、本物の梅のつぼみが膨らんでいました。生き物たちは春の足音に耳を澄まし、今か今かと様子をうかがっていることでしょう。



ふきのとうも顔を出しました